

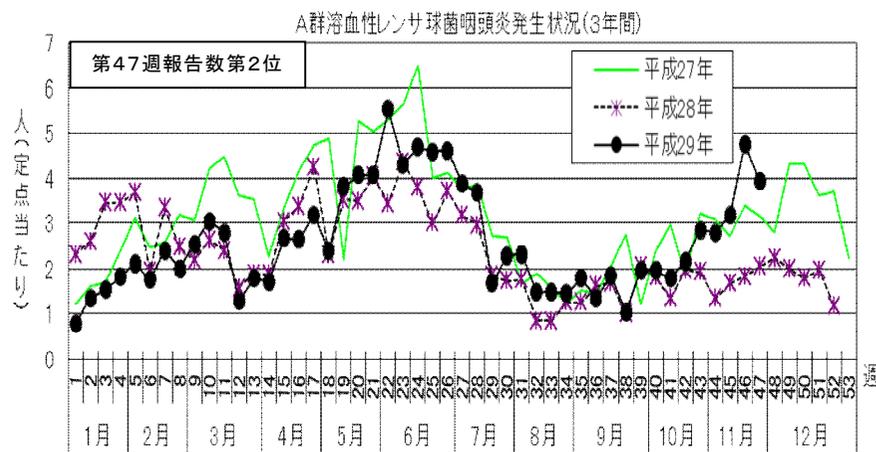
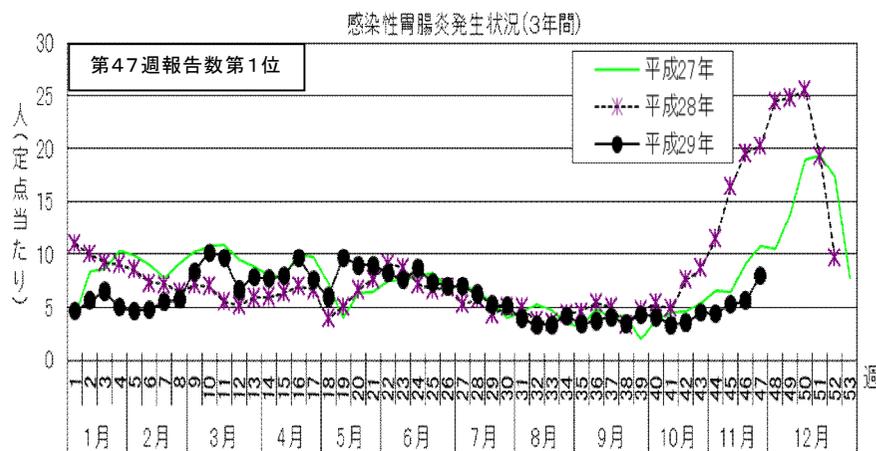
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年11月20日（月）～平成29年11月26日（日）〔平成29年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.00人と前週（5.62人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.92人と前週（4.76人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.44人と前週（2.33人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



～インフルエンザが流行シーズンに入りました！～

インフルエンザは例年12月～3月頃に流行し、1月～2月にピークを迎える冬季の代表的な呼吸器感染症です。

川崎市では、平成29年第47週（11月20日～11月26日）の定点当たり患者報告数が1.84人となり、例年と比べて1週間程度早く、流行開始の目安である1.00人を超えました。インフルエンザの流行を拡げないために、ワクチン接種や咳エチケットなどの予防対策を心掛けましょう。

インフルエンザの予防対策

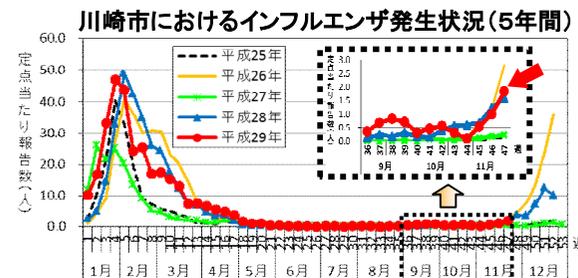
- ◆ ワクチン接種
- ◆ 咳エチケット
- ◆ 手洗いの徹底
- ◆ 適度な湿度の保持
- ◆ 十分な休養とバランスのとれた食事
- ◆ 人混みや繁華街への外出を控える



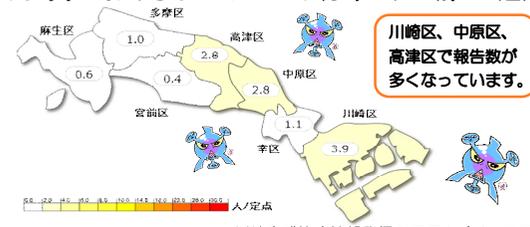
今シーズンのワクチンについて

ワクチンには下記の4種類が含まれています。

- A/H1N1亜型（2009年以降の流行株）
- A/H3N2亜型（いわゆるA香港型）
- B型（山形系統）
- B型（ビクトリア系統）



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ(第47週)



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)